



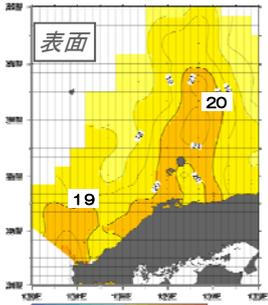
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

6月中旬 20.9℃

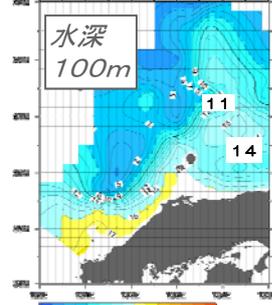
平年より1.1℃高め



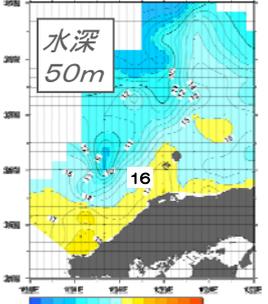
発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)
試験船による海洋観測結果 (6月上旬)



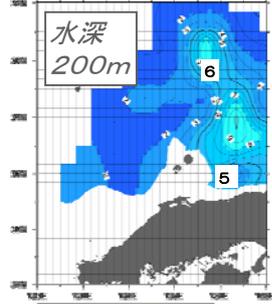
鳥取県沖と隠岐周辺海域は20℃前後で先月より5℃上昇し、平年より1~3℃高めとなっています。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は16℃前後で先月より2℃上昇し隠岐西方海域では平年より2~4℃低め、鳥取県沖合では2~3℃高めとなっています。

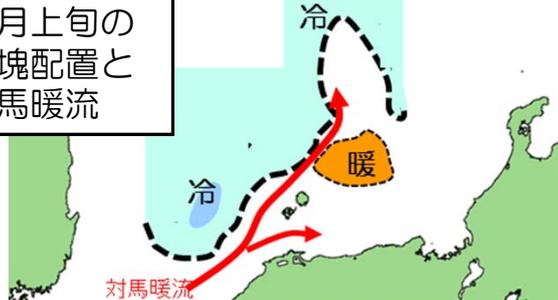


隠岐周辺海域と鳥取県沿岸域では15℃前後で、先月から1℃弱上昇しました。



鳥取県沖から兵庫県沖合、北緯36°30'付近と北緯38°00'付近に二つの暖水塊が発達しています。

6月上旬の水塊配置と対馬暖流



- ・島根沖冷水の沿岸への張り出し：島根沖冷水の隠岐北東海域への張り出しは、先月に比べ強まっており、鳥取県沖合に分布する暖水塊と接し、強い潮境域が形成されています。
- ・沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根沖から隠岐海峡を通過する流れと隠岐北方海域から北へ向かう流れに分枝しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページhttp://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=72009)に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

マアジの新規加入量調査を行いました。



第一鳥取丸の表層トロール調査



トロール網の曳網状況



採集されたマアジ稚魚

毎年、鳥取県水産試験場では、島根県、水産総合研究センターと連携して、マアジ当歳魚の加入状況の予測調査を行っています。

調査点は鳥取沖から長崎沖まで設定されており、鳥取県は隠岐周辺の26地点を担当しています。表層トロールで採集されたマアジ稚魚の個体数をもとに、その年の「加入量指数」を算出します。この加入量指数がその年のマアジ資源予測のベースとなります。

調査結果の報告は8月上旬に行います。

栽培漁業センター

美保湾栽培漁業推進協議会と共同でヒラメ試験放流を実施

栽培漁業センターでは、平成15年から休止しているヒラメ放流の再開の可能性を検討するため、美保湾で試験放流を実施しています。今年は、「放流サイズの縮小によるもうかるヒラメ放流」を目標に、平成19年より行ってきた全長10cmから8.5cmに放流サイズを小型化し、試験放流を行いました。なお、昨年同様に美保湾周辺の漁業協同組合、市が参画する美保湾栽培漁業推進協議会との共同で行いました。鳥取県漁業協同組合境港支所、同淀江支所、米子市漁業協同組合の漁業者、境港市、米子市の職員の皆様、御協力により、非常に良い状態でヒラメを放流できました(6/11淀江・皆生地先計4.4万尾、放流6/15境港地先3.2万尾放流)。ありがとうございました。



境港沖



皆生沖

参考:これまでの試験放流の回収状況

	放流尾数(尾)	回収尾数(尾)	回収率	追跡必要年数
H19年放流群	60,700	9,802	16.1%	完了
H20年放流群	61,100	2,120	3.5%	完了
H21年放流群	57,100	2,069	3.6%	完了
H22年放流群	68,610	10,064	14.7%	あと1年
H23年放流群	56,500	3,443	6.1%	あと2年
H24年放流群	63,000	109	0.2%	あと3年
H19-22年平均	61,878	6,014	9.7%	

かなり高い数値(好成绩)

★水産課からの情報★

☆賀露白いか祭りの開催のご案内☆

日時:7月15日(海の日)
場所:鳥取賀露港周辺

内容

- 白いか丼夏の陣(白いか丼の食べ比べ)
- ヒラメの記念放流
- タッチングール
- サザエの殻積み
- カニの甲羅投げゲーム

鳥取の白いかを思う存分楽しめる企画が盛り沢山!皆さん是非来てね!



漁業用燃油緊急特別対策について(7月1日~)

漁船の燃油価格の高騰に対し、国の「漁業経営セーフティネット構築事業」が以下のとおり拡充されますので、ぜひご利用ください。

○A重油95円/ℓを超えた場合の補填割合(漁業者:国、1:1⇒1:3)

○加入時期(受付:年度末の1回のみ⇒随時受付)

○燃油使用量が比較的小規模漁業者にもメリットがあるよう、漁協で一括加入

※他にも県独自で漁船のLED化・船底塗装に対するの助成を行っていますので、お気軽に最寄りの漁協にお問い合わせください

★関西本部からの情報★



阪急うめだ本店地下2階 生鮮食品売場において、5月22日(火)~5月28日(月)に開催された「まるごと鳥取フェア」に合わせて、鳥取県産魚PR推進協議会による「ハタハタの南蛮漬け」のキッチンステージを行いました。

試食品120食を提供し、「おいしい」等の声が聞かれる中、「ハタハタが鳥取で獲れるとは知らなかった」との声もまだまだあり、「ひと味ちがう!」鳥取のハタハタの消費地でのPRの重要性を再認識しました。

今、関西圏の商業施設では「モノ」から「コ(体験)」への転換が行われており、食育を取り入れた取組が可能な施設が増えています。

鳥取県産魚のおいしさを広める機会がたくさんあります。ぜひこれからも連携して取り組んでいきましょう!希望があれば御連絡ください。(関西本部販路開拓チーム 本田)

■今月の漁業許可証更新情報

平成25年7月末までに許可の更新が必要な漁業種類はありません。

■遊漁船登録業者の皆様へ...遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

◎ 共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330